

## 水谷 規男

高等司法研究科・教授

### 【研究】

2021年度に公表した研究業績は、論文2編、判例評釈1編、その他1編にとどまった。また、科学研究費補助金を得て2021年度から3年間の計画で被疑者弁護に関する新たな調査研究を開始したものの、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、出張を伴う調査活動が実施できなかった。2022年度は、研究科長職を終え、多少の時間的余裕が生まれるはずであるので、まずはこの調査研究の実施に注力したい。

### 【教育】

2021年度は、すべての授業について、対面で授業を行い、欠席者向けにそれを録画してオンデマンドで提供した。しかしながら法学部の授業では、対面授業に出席する受講者が極端に少なかった。このため、授業に対する学生の反応を知ることができず、教育効果の面でも問題が残ったと考えている。なお、私自身の教育上の功績とは言い難いかもしれないが、科目代表を務めた「裁判実務基礎(刑事)」の授業が2021年度秋冬学期において、優れた授業として表彰された。

### 【管理運営】

研究科長として運営委員会、教授会の司会を務めたほか、研究科長の充て職である教育研究評議会の評議員、法務室長、ハラスメント対策会議委員を務めた。いずれの会議もほとんどがオンライン開催となったものの、資料の事前共有によるペーパーレス化を進め、効率的な議事進行に務めた。また、ホームページ上の「研究科長室より」の欄に月一回のペースで寄稿し、研究科からの情報発信の強化に努めた。

### 【社会貢献】

学会関係では、日本刑法学会理事、比較法学会理事を務めた。このほか、大阪弁護士会から委嘱された外部委員などを務めた。また、秋に開催された「大阪大学ツアー」では、高校生向けに模擬講義を行い、受講者から高い評価を得ることができた。